



いま話題の次世代通信「5G」に関する
とっておきの情報をご紹介します

5G通信

Vol.9

MWC2018開催～期待が高まる5G～

世界最大級のモバイル機器見本市MWC。技術面での進歩に加え、政策面での後押しも確認できたことは、5G普及に向けて大きな一歩に。

MWC(モバイル・ワールド・ कांग्रेस)とは？

- MWCは毎年2月下旬～3月上旬にスペインのバルセロナで開催される世界最大級のモバイル機器見本市です。
- スマートフォンやウェアラブルといったモバイル機器に関連した基調講演や企業による新技術・新製品の展示だけでなく、投資家向けの会社説明会やミーティングなども開催されるため、市場関係者からも注目されるイベントであるといえます。
- 例年はスマートフォンメーカーによる新製品の発表などが話題の中心になりますが、今年は5G(第5世代移動通信システム)に対応したモバイル端末やネットワーク機器、5Gに関する政府高官の発言など、様々な角度から5Gが注目されました。

5Gを活用した最先端技術の展示例

「触覚伝送技術 (ハプティクス)」

- ノキアは、5Gを活用し、遠隔操作をするユーザーにリアルタイムでモノの質感を伝える「ハプティクス」のデモを公開しました。触覚が重要となる医療現場などにおいて「ハプティクス」の活用余地は大きく、遠隔手術の実現性が徐々に高まっていることが示されました。



離れた場所に居る相手の手の感覚が伝わる
(イメージ図)

「遠隔書道ロボット」

- NTTドコモは、離れた場所にいる人間の動きを5G搭載ロボットに伝え、ロボットは人間の動きに追従し筆で字を書くという遠隔操作を披露しました。5Gによる低遅延通信の実現により、リアルタイムでロボットの遠隔操作が可能になることが示され、観客を大いに賑わせました。

米政府による規制緩和が5G普及を後押し

- 米連邦通信委員会(FCC)のパイ委員長による基調講演は、今回の注目イベントの1つとなりました。FCCは、米国の放送通信事業の規制監督を行う役割を担っています。5Gの普及に向け、FCCの政策姿勢を確認できる機会ということで、関心が集まりました。
- パイ委員長によれば、米国が5Gネットワークを構築する上で重要なことは、①周波数、②通信インフラ、③規制の介入を最小限にすること、の3つです。特に通信インフラについては最優先事項として取り組むべきと言及しました。またパイ委員長は、現行の規制では5Gに必要な新しい通信インフラを構築していくには不適切であり、今後同規制を緩和する方針を示しました。



5Gでつながる未来 (イメージ図)



【 ご留意事項 】

- 当資料はニューバーガー・バーマンの情報を基に三井住友トラスト・アセットマネジメントが投資判断の参考となる情報提供を目的として作成したものであり、金融商品取引法に基づく開示書類ではありません。
- ご購入のお申込みの際は最新の投資信託説明書(交付目論見書)の内容を必ずご確認のうえ、ご自身でご判断ください。
- 投資信託は値動きのある有価証券等(外貨建資産には為替変動リスクを伴います。)に投資しますので基準価額は変動します。したがって、投資元本や利回りが保証されるものではありません。ファンドの運用による損益は全て投資者の皆様へ帰属します。
- 投資信託は預貯金や保険契約とは異なり預金保険機構および保険契約者保護機構等の保護の対象ではありません。また、証券会社以外でご購入いただいた場合は、投資者保護基金の保護の対象ではありません。
- 当資料は信頼できると判断した各種情報等に基づき作成していますが、その正確性、完全性を保証するものではありません。また、今後予告なく変更される場合があります。
- 当資料中の図表、数値、その他データについては、過去のデータに基づき作成したものであり、将来の成果を示唆あるいは保証するものではありません。
- 当資料で使用している各指数に関する著作権等の知的財産権、その他の一切の権利はそれぞれの指数の開発元もしくは公表元に帰属します。